

# 美深町のあゆみ

平成26年12月



美 深 町

# 美深町年表（抜粋）

西 暦 (年代)	おもな出来事	西 暦 (年代)	おもな出来事
1857 (安政4)	・松浦武四郎、天塩川を遡り天塩国上川郡、中川郡を探検する。		・2線の駅通所を9線に移設。
1888 (明治21)	・内田静、柳本道義ら植民地撰定測量のため来村調査する。	1909 (明治42)	・美深尋常小学校5線分教場（辺溪小）開校。
1891 (明治24)	・「北海道植民地撰定報文」が刊行され、この中で初めてピウカ原野オンネナイ原野が紹介される。	1910 (明治43)	・9線役場敷地内に隔離病舎設置。 ・美深衛生組合設立。 ・天塩農事試作場を9線に設置。 ・天塩線を宗谷線と呼称。 ・美深、恩根内駅舎完成。
1895 (明治28)	・この頃玉井捨三郎、獣皮買、鮭漁に入地する。		
1899 (明治32)	・平喜三郎当時に初めて開拓の鍬を下ろす。 <b>〈美深町開基〉</b>	1911 (明治44)	・紋穂内駅舎設置。 ・下名寄私設消防組結成（ <b>本町消防の起こり</b> ）。 ・宗谷線名寄～恩根内間開通。 ・恩根内郵便局設置。 ・市街地区画の制定。
1900 (明治33)	・仮定県道、恩根内7線まで開通。 ・区割り設定実施される。 ・山梨磐作入植。 ・長野県人宮原代太郎武信組を組織して入村。	1912 (明治45)	・ニウブ駅通所設置（ニウブ25線）。 ・中川村分離、下名寄村戸長役場。 ・美深尋常高等小学校14線（斑溪）特別教授場開校。 ・宗谷線恩根内～音威子府間開通。 ・天塩川沿岸に薄荷の栽培始まる。
1901 (明治34)	・天塩國中川郡を上川支庁に編入、剣淵外3カ村戸長役場所属となる。 <b>〈上川郡剣淵外三カ村中川郡各村戸長役場〉</b> ・徳島県人笠原新吉、恩根内地区に入地。 ・恩根内16線に官設渡船場設置。 ・美深2線と17線に官設渡船場、美深2線にピウカ駅通所設置される。	1913 (大正2)	・恩根内第2尋常小学校所属25線特別教授場（楠小）開校。 ・北海道木材株式会社美深工場操業開始、自家発電を始める（ <b>本町初の電気使用</b> ）。 ・仁宇布に至る道路全通。
1902 (明治35)	・上名寄郵便局を設置、恩根内まで管轄する。 ・オンネナイ駅通所設置。 ・大久保農場で水田の試作実施。 ・近藤農場内に初めて簡易教育所設置。 ・本町初の里道美深5線、11線道路完成する。 ・恩根内に至る仮定県道竣工。 ・大凶作	1914 (大正3)	・5線に日本製麻会社美深工場設立。 ・恩根内4線（紋穂内）に官設渡船場設置。 ・美深駅で公衆電報取り扱い開始。
1903 (明治36)	・美深7線に美深簡易教育所正式開所。 ・恩根内16線簡易教育所設置。 ・5線に美深郵便局を設置。	1915 (大正4)	・北海2級町村体制を実施、初代村長に立石文雄。 ・第1回村議会議員選挙執行（定員12名）。 ・村内20区に分けて部長制度をとる（組長より引継）。
1904 (明治37)	・旧厚生小学校、恩根内8線簡易教育所として開校。 ・村医として名寄より深山竹松を招じ診療所を設ける。		
1905 (明治38)	・美深簡易教育所を8線西3番地に移転新築。 ・下名寄巡査駐在所を美深5線に設置。 <b>〈本町警察の初め〉</b>		
1906 (明治39)	・中川郡に中川村設置、上名寄外3村戸長役場所属。 ・中川郡は下名寄村、中川村の2村になる。 ・オグルマナイ部落に岩井農場開く。	1916 (大正5)	・恩根内第1尋常小学校所属恩根内11線（オテレコッペ）特別教授場開校。 ・農事試作場で農業気象観測始まる。 ・北海木材工場自家発電により市街地電化なる。
1907 (明治40)	・上名寄外3カ村戸長役場から分離、下名寄外1村戸長役場を美深5線に開庁。 ・竹内善兵衛、福島団体長としてニウブに来住。 ・ <b>下名寄村戸数 1,125戸 5,252人</b>	1917 (大正6)	・農産物検査所設置。 ・恩根内第2尋常小学校所属辺別毛内特別教授場（清水小）開校。 ・美深尋常高等小学校所属雄木禽特別教授場開校。
1908 (明治41)	・恩根内18線渡船場（小車）私設。 ・美深郵便局で電信事務（電報取扱）開始。 ・ウルベン簡易教育所開所（玉川小の前身）。 ・美深二三四青年会発足。 <b>〈美深青年会の初め〉</b> ・俣野大治郎、美深9線で俣野医院を開業。 <b>〈本町初の個人病院〉</b>	1918 (大正7)	・恩根内第2尋常小学校所属御車内特別教授場開校。 ・小笠原一族南米に移住。 ・下名寄村誌刊行。



西 暦 (年代)	おもな出来事	西 暦 (年代)	おもな出来事
1919 (大正 8)	・北海道農産物検査所恩根内駐在所設置。	1941 (昭和16)	・冷害凶作。
1920 (大正 9)	・智恵文村分村、同時に下名寄村を美深村と改称。 ・本町で初めて電話開通（電話交換業務開始）。 ・第 1 回国勢調査（美深村 2,045 戸、10,991 人）。 ・美深橋架設。（本町天塩川架橋第 1 号）	1942 (昭和17)	・山田為吉 4 代目町長に就任。 ・融雪水害。 ・美深町国民健康保険組合設立。 ・美深町森林組合創立。
1921 (大正10)	・仁宇布発電所営業開始。 ・名寄区裁判所美深出張所開庁（登記所）。	1943 (昭和18)	・美深町土地改良 5 カ年計画樹立。
1922 (大正11)	・町内国道架橋第 1 号恩根内橋完成（16線渡船廃止）。	1944 (昭和19)	・道支弁森林軌道ニウプ25線より30線まで延長、その後24、25、26年各支線延長する。 ・天塩川木材工業株式会社創立。
1923 (大正12)	・石崎喜代松初代町長に就任。 ・北海道 1 級町村制施行により美深町と改称。 ・紋穂内で石炭掘る。 ・美深土功合かんがい溝竣工、通水式を行う。	1945 (昭和20)	・美深国の子寮（育成園）設立。 ・小車水銀錠閉鎖。
1925 (大正14)	・ホルスタイン牛導入される。 ・第 2 回国勢調査（世帯 1,814 人口 10,149） ・大豊作、造田熱高まる。 ・恩根内川東、清水地区に定刻在郷軍人農業経営団 15 戸64名集団入地。	1946 (昭和21)	・元木松右エ門 5 代目町長に就任。 ・美深町農民同盟結成。 ・豊清水駅仮停車場設置。 ・天木、日通、北教組、北電、全通など労働組合の結成をみる。
1926 (大正15) (昭和元)	・北海道拓殖銀行美深派出所営業開始。 ・本町に初めてラジオ入る。	1947 (昭和22)	・公選第 1 回町長選挙、西尾六七 6 代目町長に就任。 ・美深警防団改組、美深消防団を組織。 ・恩根内消防団を組織。 ・美深、恩根内中学校開校。 ・美深公民館開設、各部落に分館設置。 ・美深中学校仁宇布分校設置。 ・第 1 期美深町農業復興 5 カ年計画を樹立。 ・功村電化事業が始められる。 ・臨時国勢調査（世帯 2,240 人口 12,455）
1927 (昭和 2)	・池田文二 2 代目町長に就任。平喜三郎死去。	1948 (昭和23)	・自治体警察制度により、美深警察署設置。 ・開基50周年記念式典挙行。 ・町歌、町章制定。 ・初野臨時乗降場設置。 ・美深～枝幸間鉄道敷設、衆議院請願採択なる。 ・北海道名寄農業高等学校美深分校（定時制）開校。
1928 (昭和 3)	・美深町大火（停車場附近より出火。全市街、鳥有に帰す）。 ・役場庁舎、字東 1 条北 5 丁目に新築。	1949 (昭和24)	・役場恩根内出張所開所。 ・北海道水産ふ化場天塩支場開場。 ・北海道美深林務署開署。
1930 (昭和 5)	・堀捨次郎 3 代目町長に就任。 ・恵深橋竣工（渡船を廃止）。 ・第 3 回国勢調査（世帯 1,958 人口 11,708）	1950 (昭和25)	・東清水駅開業。 ・拓銀事件発生。 ・美深商工会議所設立（まもなく商工会と改称）。 ・有線放送施設全農家に設置、放送開始（昭41廃止）。 ・国勢調査（世帯 2,328 人口 13,360）
1931 (昭和 6)	・最低気温 -41.5℃ を記録。 ・美深枝幸間鉄道敷設第 1 回現地踏査実施。	1951 (昭和26)	・美深駅名「びうか」を「びふか」に呼名改正。 ・美深広報第 1 号発行。 ・美深町史刊行。
1932 (昭和 7)	・美深商工会発足。 ・本町水稻面積 2,201 町 5 反を記録する。 ・大水害発生、被害面積 1,003 町 8 反、大凶作収穫皆無。 ・美深～名寄間乗合自動車（中央自動車商会）運転開始。	1952 (昭和27)	・町立美深高等酪農学校開校。 ・美深町工業誘致条例制定。 ・名寄高等学校美深分校、第 2 種高等学校に転換、北海道美深高等学校として独立。 ・西町に本町最初の公営住宅第 1 種10棟10戸を建設する。 ・美深総合グラウンド完成。 ・美深町教育委員会設置発足。
1934 (昭和 9)	・冷害凶作、水田 1,962 町 1 反のうち 1,840 町 8 反収穫皆無にあう。 ・恩根内に水銀発見される。 ・美深大橋架橋（美深17線渡船場廃止）。		
1935 (昭和10)	・仁宇布植民軌道、仁宇布25線まで開通する。 ・第 4 回国勢調査（世帯 1,914 人口 11,713）		
1936 (昭和11)	・美深町字名番地改正。		
1939 (昭和14)	・美深消防組に自動車ポンプ入る（本町初）。		
1940 (昭和15)	・美深幼稚園開設。 ・詩人野口雨情来町「美深歌謡十二章」を残す。 ・第 5 回国勢調査（世帯 1,851 人口 11,314）		

西暦 (年代)	おもな出来事	西暦 (年代)	おもな出来事
1953 (昭和28)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期農業復興5カ年計画樹立。</li> <li>天塩川氾濫大水害発生、災害救助法の適用を受ける。</li> <li>美深警察署設置。</li> <li>美幸線敷設促進期成会結成。</li> <li>美深町社会福祉協議会設立。</li> </ul>	1963 (昭和38)	<ul style="list-style-type: none"> <li>道道紋穂内橋竣工、渡船を廃止。</li> <li>清水部落簡易水道施設完成。</li> <li>仁宇布植民軌道廃止。</li> <li>美深町交通安全推進協議会設立「交通安全町」を宣言。</li> <li>美深町第2期総合開発計画樹立。</li> <li>美深町町政調査員制度を設ける。</li> <li>美深町を含む1市3町協同し尿処理組合発足。</li> <li>豊作、産米出荷 3万734俵。</li> </ul>
1954 (昭和29)	<ul style="list-style-type: none"> <li>美深町都市計画樹立（法適用 昭30.4.4）。</li> <li>台風15号襲来、災害救助法の適用を受ける。</li> <li>清水地区開拓入植開始。</li> <li>有線放送仁宇布地区開通。</li> </ul>	1964 (昭和39)	<ul style="list-style-type: none"> <li>辺溪小学校を美深小学校に統合、スクールバス運行。</li> <li>集団赤痢発生。</li> <li>美幸線、美深～仁宇布間開通。</li> <li>仁宇布地区に電気導入される。</li> <li>美深町立第二小学校開校。</li> </ul>
1955 (昭和30)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大水害。</li> <li>中国人俘虜殉難者慰霊祭執行。</li> <li>美深町を含む1市8カ町村名寄地域集約酪農地区の指定を受ける。</li> <li><b>国勢調査（世帯 2,464 人口 13,876）</b></li> </ul>	1965 (昭和40)	<ul style="list-style-type: none"> <li>楠小学校を恩根内小学校に、厚生中学校を美深中学校に、公德中学校を恩根内中学校に統合。</li> <li>第一回商工祭り開かれる。</li> <li>菊丘、仁宇布スキー場開設。</li> <li>美深町乳牛 2,000頭を突破する。</li> <li><b>国勢調査（世帯 3,055 人口 13,490）</b></li> </ul>
1956 (昭和31)	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画区域指定。</li> <li>国鉄宗谷本線南美深臨時乗降場設置。</li> <li>新農山村漁村建設地域の指定を受ける。</li> <li>町民憩の日制定、第1回町民運動会並びに芸能大会開く。</li> <li>冷害大凶作水稲収穫皆無。</li> <li>美深小唄美深音頭完成。</li> <li>第1回産業祭実行、各種行事を実施。</li> </ul>	1966 (昭和41)	<ul style="list-style-type: none"> <li>玉川中学校を美深中学校に統合。</li> <li>上水道施設完成、給水開始（給水戸数 1,248戸 5,866人）</li> <li>へき地電気導入事業で未点灯農家概ね解消される。</li> <li>豪雪（40年11月～41年4月新積雪合計、仁宇布駅 19.4メートル、美深駅 13.7メートル、美深農業気象観測所 10.8メートル、過去50カ年平均 7.0メートル）</li> <li>冷害凶作（救農土木事業実施）。</li> </ul>
1957 (昭和32)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新農村建設事業開始第1次菊丘草地造成共同作業所など実施。</li> <li>町体育指導員制度設ける。</li> <li>第2期農業復興5カ年計画完遂、乳牛 1,000頭突破記念式典挙行。</li> <li>美幸線工事着工式・記念行事実施。</li> </ul>		
1958 (昭和33)	<ul style="list-style-type: none"> <li>美深町開基60周年記念式典挙行、各種記念事業実施。</li> <li>高酪校内に郷土博物館を併設。</li> <li>自転車税、荷車税、ミシン税、犬税を4月1日より廃止。</li> </ul>		
1959 (昭和34)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1期美深町総合開発計画樹立。町地下資源開発5カ年計画樹立。</li> <li>国民健康保険完全5割給付なる。</li> <li>中村元明、水稲新種「中村白毛」を開発。</li> </ul>		
1960 (昭和35)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各区に「ひまわり会」を組織、美深町青少年育成協議会結成。</li> <li>美深町体育連盟を結成。</li> <li>へき地農村電気導入事業開始（第1年次玉川、泉地区）。</li> <li><b>国勢調査（世帯 2,773 人口 14,046）</b></li> </ul>	1967 (昭和42)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各区に児童遊園地を整備する。</li> <li>長谷部秀見、第7代町長に就任。</li> <li>富岡遺跡発掘調査実施。</li> <li>大豊作、産米出荷 7万俵を突破する。</li> <li>町内初の交通信号機設置（国道と駅前通りの交点）。</li> </ul>
1961 (昭和36)	<ul style="list-style-type: none"> <li>町立病院を北海道厚生農業協同組合連合会に経営移管「美深厚生病院」に名称変更。</li> <li>菊丘パイロット事業着手。</li> </ul>	1968 (昭和43)	<ul style="list-style-type: none"> <li>美深町旗制定。</li> <li>菊丘浄水場に樹霊碑建立。</li> <li>農協合理化澱粉工場新設操業開始。</li> <li>美深町開基70周年記念式典挙行。</li> <li>産米出荷で本町米作史上最高の9万3,082俵を記録。</li> </ul>
1962 (昭和37)	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業構造改善事業パイロット地区の指定を受ける（西里）初年度事業を始める。</li> <li>郷土博物館開館。</li> <li>美深文化連盟結成。</li> <li>長雨災害凶作、救農土木工事実施される。</li> <li>美深町役場（西町18番地）新築落成式挙行。</li> </ul>	1969 (昭和44)	<ul style="list-style-type: none"> <li>美深電報電話局、ダイヤル式自動電話に切替。</li> <li>天塩川紋穂内地区ショートカット工事完成。</li> <li>美深町山村振興法の指定を受ける。</li> </ul>



西暦 (年代)	おもな出来事	西暦 (年代)	おもな出来事
1970 (昭和45)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的な米の生産過剰に対する国の緊急措置として生産調整が打ち出される。</li> <li>・仁宇布松山の観光開発に着手(天竜沼まで林道)。</li> <li>・<b>国勢調査(世帯 2,939 人口 11,433)</b></li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄建公団篠原総裁美幸線を視察。</li> <li>・スーパー林道開通(美深町～枝幸町)。</li> <li>・松浦周太郎先生顕彰碑建立。</li> </ul>
1971 (昭和46)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恩根内～楠間、恩根内～報徳間町営バス運行。</li> <li>・上川北部地区広域町村圏振興協議会設立。</li> <li>・地域集団電話開通(美深恩根内地区)。</li> <li>・美深町総合計画第1期策定。</li> <li>・上川北部消防事務組合発足。</li> <li>・大規模草地開発事業完成 169ha</li> <li>・美深町史刊行。</li> <li>・美深町地籍調査始まる。</li> <li>・過疎地域の指定を受ける。</li> <li>・美深町観光開発促進協議会発足。</li> <li>・美深町営野球場完成。</li> </ul>	1978 (昭和53)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉川地区テレビ共同受信設備完成。</li> <li>・美深町開基80周年記念式典。</li> <li>・町木エゾマツ。町花ツツジ決定。</li> <li>・町民憲章制定。</li> <li>・基幹集落センター落成。</li> <li>・人口林1万ヘクタール達成。</li> <li>・恩根内地区農集電話一般電話加入電話に切替。</li> <li>・地域農政特別対策事業地区指定。</li> <li>・相沢英之、司葉子夫妻を招き第3回びふか松山観光まつり。</li> <li>・80周年記念町勢要覧、映画「明日への息吹」作製。</li> </ul>
1972 (昭和47)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌オリンピック冬季大会の聖火通る。</li> <li>・新酪農近代化計画樹立。</li> <li>・南児童館オープン。</li> <li>・町内施設見学会をはじめ。</li> <li>・恩根内生活改善センター完成。</li> </ul>		 <p>開基80周年記念式典 (昭和53年10月5日)</p>
1973 (昭和48)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・びふか松山湿原北海道学術自然保護地区に指定される。</li> <li>・美深小学校前ハルニレが記念保護樹に指定される。</li> <li>・町立美深高等酪農学校廃校。</li> <li>・町政モニター制度を採用。</li> <li>・老人クラブ連合会結成。</li> <li>・玉川地区テレビ共同アンテナ完成。</li> <li>・老人憩いの家開館。</li> <li>・牧場まつりはじまる。</li> </ul>	1979 (昭和54)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川西林業集会所センター完成。</li> <li>・美幸線集団見合い。</li> <li>・札幌交響楽団を招きグリーンコンサート(第4回美幸線びふか松山湿原まつり)。</li> </ul>
1974 (昭和49)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民スキー場にスキーリフト完成。</li> <li>・美深農業振興地域計画地域指定を受ける。</li> <li>・美深消費者協会発足。</li> <li>・第1回美深町金婚祝賀会開催。</li> <li>・乳牛3,000頭達成記念。</li> <li>・仁宇布地区テレビ共同受信施設完成。</li> <li>・恩根内バイパス大橋完成。</li> <li>・美深消防署救急業務開始。</li> <li>・町立美深幼稚園開園。</li> <li>・美深中学校改築落成。</li> </ul>	1980 (昭和55)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楠地区埋蔵文化財発掘調査開始。</li> <li>・美深森林公園内にキャンプ場、フォレストスポーツ完成。</li> <li>・さけますふ化場移転新築。</li> <li>・林業保養センターびふか温泉オープン。</li> <li>・町民体育館及び前庭舗装、駐車場、噴水など整備し、スポーツセンターが完成。</li> <li>・町営美深プールに上屋完成(日本水泳連盟公認プールとなる)。</li> <li>・全日本男子バレーボールチームが町民体育館で強化合宿。</li> <li>・名誉町民松浦周太郎氏死去。</li> <li>・国道275号線の泉大橋完成。</li> <li>・<b>国勢調査(世帯 2,647 人口 8,350)</b></li> <li>・恩根内小学校の新校舎が完成。</li> </ul>
1975 (昭和50)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美深町後期過疎地域計画樹立。</li> <li>・公德小学校廃校。</li> <li>・町民マラソン大会をはじめ。</li> <li>・町営プール完成(美深プール・恩根内プール)。</li> <li>・美幸線赤字日本一で話題集める。</li> <li>・<b>国勢調査(世帯 2,745 人口 9,620)</b></li> </ul>	1981 (昭和56)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清水小学校が恩根内小学校に統合される。</li> <li>・恩根内中学校が美深中学校に統合される。</li> <li>・美深少年少女消防クラブが誕生。</li> <li>・商工まつりで初の千人踊り。</li> <li>・初のびふか森林公園まつり。</li> <li>・恩根内小学校プール完成。</li> <li>・8月豪雨により農作物に大被害。</li> <li>・福岡県添田町と姉妹町提携。</li> <li>・美深川に20年ぶりに大量のサケ帰る(ふ化場で美深産のサケ第1号がかえる)。</li> </ul>
1976 (昭和51)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・斑溪小学校廃校。</li> <li>・びふか松山湿原、北海道自然環境保全地域に指定される。</li> <li>・商工従業員持家住宅など、しらかば団地造成。</li> <li>・美幸線松山観光めぐり開催される(第1回)。</li> </ul>		
1977 (昭和52)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新「美深小学校」開校。</li> <li>・吉野地区飲料水共同施設(水道)完成。</li> <li>・司葉子さん来町(観賞碑建立)。</li> <li>・上川管内身体障害者スポーツ大会当町で開催。</li> </ul>	1982 (昭和57)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・びふか冬まつり始まる。</li> <li>・東地区などに農用地利用改善組合誕生。</li> <li>・森林公園に全天候型テニスコートオープン。</li> </ul>

西暦 (年代)	おもな出来事	西暦 (年代)	おもな出来事
1983 (昭和58)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林公園にシンボル碑寄贈される。</li> <li>・七福老人クラブ20周年記念式典。</li> <li>・70才以上の老人の「びふか温泉招待事業」スタート。</li> <li>・美深町郷土研究会が発足。</li> <li>・美幸線びふか松山湿原まつり「美しい幸せの旅」歌披露される。</li> <li>・姉妹町の添田町から124人の親善使節団が初来町。</li> <li>・森林公園に「先住民の村」オープン。</li> <li>・ふ化場新施設から放流のサケ（2年魚）帰る。</li> <li>・恩根内保育所落成。</li> <li>・旭川地方務局美深出張所の新庁舎落成。</li> <li>・文化財専門委員会が発足。</li> </ul>	1986 (昭和61)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川西地区水道施設完成。</li> <li>・美深町青年連絡会議発会。</li> <li>・行政改革協議会発足。</li> <li>・北海道さけますふ化場天塩支所新庁舎落成。</li> <li>・美深町特別養護老人ホーム開所。</li> <li>・「農林漁家高齢者センター」事業部設立。</li> <li>・美深手話の会発足。</li> <li>・姉妹町添田町から96人来町。</li> <li>・「日本海・オホーツク海横断開発道路」促進期成会発足。</li> <li>・美深育成園創立40周年。</li> <li>・美深公園「望の森」オープン。</li> <li>・社会福祉協議会が在宅寝たきり老人の入浴サービス開始。</li> <li>・コミュニティー広場完成。</li> <li>・美深もち米生産組合10周年記念式典。</li> <li>・美深郵便局庁舎新築落成記念式。</li> <li>・4 Hクラブ創立30周年記念式。</li> <li>・横路知事来町。</li> </ul>
1984 (昭和59)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美深婦人会が創立30周年記念式典。</li> <li>・老人保健制度がスタート。</li> <li>・仁宇布地区全戸に待望の電話開通。</li> <li>・びふか温泉入館者15万人突破。仮装雪中ダイビング。</li> <li>・長谷部町長5選。</li> <li>・天塩川名由来の地など4史跡と「びふか松山湿原</li> <li>・三木元総理らをむかえて故松浦周太郎先生を偲ぶ会。</li> <li>・北海道美深高等養護学校の校舎建設始まる。</li> <li>・第1回美幸線貫通祈願町民駅伝大会開かれる。</li> <li>・役場庁舎改築。</li> <li>・第1回公区対抗ソフトボール大会。</li> <li>・美深高等学校創立35周年、校舎落成記念式典。</li> <li>・森林公園に下村湖人先生歌碑建立、チョウザメ300匹、ドイツゴイ200匹放流。</li> <li>・低温と雪害による農作物に大被害。</li> <li>・美深川、オキキン川に秋サケ大量回帰。</li> <li>・姉妹町添田町に84名訪問。</li> <li>・仁宇布浄水場で待望の通水式。</li> <li>・美深幼稚園で10周年記念式典。</li> </ul>	1987 (昭和62)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回美深ふるさと冬まつり。</li> <li>・田島富士重工株式会社来町。</li> <li>・農協青年部創立30周年記念式。</li> <li>・美深育成園創立者松浦カツ氏死去。</li> <li>・「日本国有鉄道」が「道旅客鉄道会社」に。</li> <li>・恩根内女性ドライバークラブ設立10周年記念式。</li> <li>・岩木実8代目町長に就任。</li> <li>・町畜産センター改修落成式。</li> <li>・美深スバルの会設立。</li> <li>・アワヨトウ異常発生。</li> <li>・西里、恩根内に水道施設完成。</li> <li>・「望の森」を守り育てる会設立。</li> <li>・姉妹町添田町から農業青年訪問団来町。</li> <li>・国道275号「ウルベシ橋」「峠橋」完成、新国道開通。</li> <li>・美深ライオンズクラブ創立10周年記念式典。</li> <li>・七福老人クラブ25周年記念式典。</li> <li>・交通ターミナルオープン。</li> <li>・浄水場「遠隔監視操作システム」完成。</li> <li>・BBSシニアクラブ発足。</li> <li>・美深バレーボール協会設立30周年記念式典。</li> </ul>
1985 (昭和60)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美深歩くスキー愛好会設立。</li> <li>・美深高等養護学校協力会発足。</li> <li>・美深たちばな会創立20周年。</li> <li>・ふるさと太鼓愛好会発足。</li> <li>・美深町婦人団体連絡協議会創立30周年。</li> <li>・美幸線鉄道を断念、バス転換全線運行を要望。</li> <li>・農林漁家高齢者センターオープン。</li> <li>・美幸線廃止21年間の歴史を閉じる。</li> <li>・<b>国勢調査（世帯 2,619 人口 7,889）</b></li> </ul>	1988 (昭和63)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美深警察署駅前派出所移転、改築。</li> <li>・「ゆり焼酎びふか」新発売。</li> <li>・美深町農業共済組合が広域合併し、上川北部農業共済組合美深支所に改称。</li> <li>・まちづくり委員会が発足。</li> <li>・名誉町民西尾六七氏勲3等旭日中綬章受章。</li> <li>・フロンティア・アドベンチャー事業実施。</li> <li>・美深ボランティア連絡協議会発足。</li> <li>・町開基90周年記念式典。</li> <li>・町開基90周年各種記念協賛行事開催。</li> <li>・商工会青年部30周年。</li> <li>・鮭観橋完成。</li> <li>・厚生小学校体育館完成。</li> </ul>
	<p>～美幸線サヨナラ列車（昭和60年9月16日）</p> 	1989 (昭和64) (平成元)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美深木遣歌保存会発足。</li> <li>・全国農協共済綱引大会で美深クラブチーム優勝。</li> <li>・シラカバ樹液「森の雫」商品化。</li> <li>・びふか温泉利用者50万人達成。</li> <li>・美深町消費者協会創立15周年。</li> <li>・故松浦周太郎夫妻を偲ぶ会開催。</li> </ul>

西暦 (年代)	おもな出来事	西暦 (年代)	おもな出来事
1990 (平成2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美深小学校にことばの教室開設。</li> <li>・美深のぞみ学園起工式。</li> <li>・国道275号線美深峠「ウルベシ橋展望施設」完成。</li> <li>・仁宇布多目的集会施設、小中学校体育館完成。</li> <li>・じん芥焼却炉完成。</li> <li>・東京美深会発足。</li> <li>・第1コミュニティセンター完成。</li> <li>・恩根内消防団拠点施設新築落成式典。</li> </ul>	1995 (平成7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生小学校90周年記念式典。</li> <li>・ふるさと館完成。</li> <li>・国際樹液サミット開催。</li> <li>・富士重工(株)北海道試験場建設起工式。</li> <li>・岩木町長3選。</li> <li>・ごみ埋立処分場完成。</li> <li>・運動広場パークゴルフ場オープン。</li> <li>・<b>国勢調査(世帯2,379 人口6,540)</b></li> <li>・日独スポーツ少年団同時交流参加。</li> <li>・YOSAKOIソーラン結成。</li> <li>・アシュクラフト村親善訪問。</li> <li>・函岳ヒュッテ完成。</li> <li>・ふれあい公園完成。</li> <li>・生涯学習センターの名称「美深町文化会館 COM100」に決定。</li> <li>・コテージ2棟完成。</li> </ul>
1991 (平成3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美深のぞみ学園完成。</li> <li>・全町住民自治会組織発足。</li> <li>・美深公園「望の森」完成。</li> <li>・島田歌穂、敬穂リサイクル開催。</li> <li>・<b>国勢調査(世帯2,450 人口7,103)</b></li> <li>・サハリン州ドリンスク市民族アンサンブル団美深公演。</li> <li>・西尾峠に記念塔完成。</li> <li>・恩根内公園完成。</li> <li>・美深町自治会連合会発足。</li> <li>・国際ソロプチミスト美深発足。</li> <li>・美深町体育協会設立30周年記念式典。</li> <li>・森林公園コテージオープン。</li> </ul>	1996 (平成8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士重工(株)テストコース一期工事完成。</li> <li>・農業振興センター完成。</li> <li>・老人短期入所施設(ショートステイ)完成。</li> <li>・国土庁「水の郷」に認定。</li> <li>・第1回白樺樹液春まつり。</li> <li>・YOSAKOIチーム名「びふか乱舞」に決定。</li> <li>・松浦周太郎先生100年カツ夫人95年生誕記念式典。</li> <li>・美深町平和記念式典開催。</li> <li>・拓銀美深支店創業70周年。</li> <li>・びふかアイランド、パークゴルフ場、ターフグレンデ等オープン。</li> <li>・文化会館「COM100」起工式。</li> <li>・美深育成園創立50周年記念式典。</li> <li>・美深町開基100年シンボルマークテーマ決定。</li> <li>・美深町商工会婦人部設立30周年記念式典。</li> <li>・精神薄弱者更正施設第二のぞみ学園完成。</li> <li>・美深スキー場ロッジ新築等完成。</li> </ul>
1992 (平成4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第3次美深町総合計画」策定。</li> <li>・岩木町長2選。</li> <li>・美深町在宅老人デイ・サービスセンター開設。</li> <li>・美深町青少年育成協議会設立30周年記念式典。</li> <li>・仁宇布小中学校山村留学制度スタート。</li> <li>・美深町酪農ヘルパー利用組合設立。</li> <li>・敷島、西町、南町の字名改正。</li> <li>・商店街イルミネーション設置。</li> <li>・町営ゴルフ練習場完成。</li> <li>・自治会婦人部(現：女性部)連絡協議会発足。</li> </ul>	1997 (平成9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士重工(株)川合社長来町。</li> <li>・びふか温泉増改築オープン。</li> <li>・物産展示館「双子座館」オープン。</li> <li>・「裸の大将」町内口ケ。</li> <li>・イチゴワイン販売開始。</li> <li>・美深ライオンズクラブ認証15周年記念式典。</li> <li>・美深幼稚園新園舎完成。</li> <li>・恩根内小学校開校90周年記念式。</li> <li>・美深町文化協会設立30周年記念式典。</li> <li>・新生コミュニティセンター完成。</li> </ul>
1993 (平成5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道知事訪問「市町村サミット」</li> <li>・災害弱者緊急通報システム開設。</li> <li>・美深アイランド「双子座館」道の駅指定。</li> <li>・新恵深橋完成。</li> <li>・交通ターミナルタワー「美幸の鐘」ライトアップ。</li> <li>・北海道開発局地域活性化貢献賞受賞。</li> <li>・びふか国際交流の会結成。</li> <li>・美深中学校体育館完成。</li> <li>・美深町保健センター完成。</li> </ul>	1998 (平成10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業農村整備優良地区コンクール中山間地域活性化の部で農林水産大臣賞を受賞。</li> <li>・びふかアイランドにチョウザメ館オープン。</li> <li>・美深中学校開校50周年記念式典。</li> <li>・第5回姉妹町添田町親善訪問。</li> <li>・アシュクラフト村との国際友好記念壁画完成。</li> <li>・天塩川木材工業株式会社の自己破産、関連企業の廃業。</li> <li>・100周年記念賛歌歌詞決定。</li> <li>・チョウザメ国内6例目のふ化に成功。</li> <li>・美深町開基100周年記念美深タワー完成。</li> </ul>
1994 (平成6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報徳、清水、吉野地区農作業準備休憩施設完成。</li> <li>・東部地区水道施設完成。</li> <li>・美深町公共下水道通水記念式。</li> <li>・アシュクラフト村と友好都市提携盟約書調印式。</li> <li>・名誉町民西尾六七氏顕彰像完成。</li> <li>・北海道住宅建設促進会公営住宅団地表彰受賞。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・美深フローリング製作所(旧天塩川木工)操業開始。</li> <li>・恩根内センタープラザ完成。</li> <li>・町行政事務OA化始まる。</li> <li>・美深タワーの名称「100周年記念塔」に決定。</li> <li>・長野パラリンピックで安彦諭君(美深高等養護学校1年)がクロスカントリークラシカル5kmで銀メダルを獲得。</li> <li>・きたいっしょ推進協議会設立。</li> <li>・美深文化会館COM100完成。</li> <li>・第30回道民スポーツ上川北部夏季大会当町で開催。</li> <li>・姉妹町添田町親善訪問団来町。</li> <li>・トロッコ王国開国。</li> <li>・美深町開基100周年記念式典。</li> </ul>

西暦 (年代)	おもな出来事	西暦 (年代)	おもな出来事
1999 (平成11)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長谷部秀見氏に名誉町民の称号を推戴。</li> <li>・美深町100年記念写真集発刊。</li> <li>・美深町開基100年各種記念・協賛行事開催。</li> <li>・北海道美深高等学校創立50周年記念式典。</li> <li>・美深町商工会青年部設立40周年記念式典。</li> <li>・松浦武四郎「踏査之地詩碑」建立。</li> <li>・JAびふか50周年記念式典。</li> </ul>  <p>開基100年記念事業「文化会館COM100 第1回音楽祭」 (平成10年10月3日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雄木禽自治会が吉野自治会に統合。</li> <li>・厚生小学校廃校。</li> <li>・辺溪自治会が東自治会に統合。</li> <li>・母子会創立40周年記念式典。</li> <li>・美深町農業協同組合と音威子府常磐農業協同組合が合併。</li> <li>・岩木町長4選。</li> <li>・第3回国際友好都市アシュクラフト村親善訪問。</li> </ul>	2003 (平成15)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧厚生小学校グラウンドに薬用植物展示園「天塩川漢方の里」オープン。</li> <li>・第4回国際友好都市アシュクラフト村親善交流訪問。(アシュクラフト村村制50周年)</li> <li>・美深町郷土研究会設立20周年記念式典。</li> <li>・美深ライオンズクラブ認証25周年記念式典。</li> <li>・旧厚生小学校校舎を利用した「伝承遊学館」オープン。</li> <li>・秋篠宮夫妻来町、チョウザメ館を視察。</li> <li>・名誉町民山崎幸一氏死去。</li> <li>・美深町文化協会設立40周年記念事業「リフォームファッションショー」開催。</li> <li>・ケアハウス(経費老人ホーム)「むつみの苑」完成。</li> <li>・岩木町長5選。</li> <li>・美深町、下川町、中川町の3農協が合併「北はるか農業協同組合」誕生。</li> <li>・美深町出身で地方競馬通算5,000勝を達成した石崎隆之氏に町初のふるさと町民栄誉賞贈呈。</li> <li>・上川北部5町村任意合併協議会設立。(美深町、風連町、下川町、中川町、音威子府村)</li> <li>・美深消費者協会設立30周年記念式典。</li> <li>・第6回全日本イカダサミット in 天塩川大会開催。</li> <li>・2003ツール・ド・北海道国際大会開催。</li> <li>・スバル北海道美深試験場高速走行路完成。</li> <li>・名寄市加入し上川北部6市町村任意合併協議会となる。</li> </ul>
2000 (平成12)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度スタート。</li> <li>・高齢者学級から移行、COMカレッジ110美深大学創設。</li> <li>・国際樹液サミット・美深2000。</li> <li>・びふかアイランド完成記念祭。</li> <li>・名誉町民長谷部秀見氏死去。</li> <li>・美深地域訪問看護ステーション開設。</li> <li>・旭町ふれあいステーションオープン。</li> <li>・美深厚生病院改築。</li> <li>・<b>国勢調査(世帯 2,324 人口 6,040)</b></li> <li>・在宅介護支援センター、デイサービスセンターやすらぎ開設。</li> <li>・美深福祉会創立10周年・美深のぞみ学園開設10周年記念式典。</li> <li>・第6回姉妹町添田町友好親善訪問。</li> <li>・美深家畜診療所落成。</li> </ul>	2004 (平成16)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京美深会設立15周年記念総会開催。</li> <li>・美深混声合唱団編成20周年記念式典。</li> <li>・第7回姉妹町添田町友好親善訪問。</li> <li>・美深町社会福祉協議会設立50周年記念式典。</li> <li>・恩根内小学校開校100周年記念式典。</li> <li>・美深小学校開校100周年記念式典。</li> <li>・美深高等養護学校開校20周年記念式典。</li> <li>・恩根内保育所閉所。</li> <li>・美深町リサイクルセンター完成。</li> <li>・上川北部6市町村任意合併協議会解散。</li> <li>・町内初のNPO(特定非営利活動)法人「トロッコ王国美深」誕生。</li> <li>・美深ロータリークラブ創立40周年記念式典。</li> <li>・障害者就業施設共同作業所開所。</li> <li>・中川郡3町村任意合併協議会設立(美深町、中川町、音威子府村)</li> <li>・美深町高齢者事業団設立10周年記念式典。</li> <li>・美深地区地域安全推進協議会連合会設立。</li> <li>・中川郡3町村任意合併協議会解散。</li> <li>・姉妹町添田町友好親善訪問団来町。</li> <li>・国際友好都市アシュクラフト村訪問団来町。</li> <li>・台風18号襲来、大きな被害受ける。</li> <li>・町内交通事故死ゼロ記録1,000日達成。</li> <li>・名寄地方法人会美深会設立50周年を祝う会。</li> </ul>
2001 (平成13)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名誉町民西尾六七氏死去。</li> <li>・美深町体育協会設立40周年記念式典。</li> <li>・交通安全推進協議会、交通安全協会、防犯協会を統合し「美深町地域安全推進協議会」設立。</li> <li>・「第4次総合計画」策定。</li> <li>・美深町初の女性消防団員誕生。</li> <li>・小車創造の森完成。</li> <li>・美深町物産展示館「双子座館」オープン10周年。</li> <li>・第2回美深音楽祭開催。</li> <li>・姉妹町添田町友好親善訪問団来町。</li> <li>・国際友好都市アシュクラフト村訪問団来町。</li> <li>・びふか葬苑完成。</li> <li>・平成13年度全国地域づくり表彰で「トロッコ王国美深の会」が国土交通大臣表彰受賞。</li> </ul>	2005 (平成17)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症対応型共同生活介護「グループホームびふか」開所。</li> <li>・役場が機構改革により3課制・グループ制を導入。</li> <li>・「さんばち」中秀世社長が故郷びふかに「びうからーめん」をオープン。</li> <li>・第3回国際樹液サミット開催。</li> <li>・美深町エアリアルプロジェクト委員会発足。</li> <li>・美深パークゴルフ協会設立10周年記念大会。</li> </ul>
2002 (平成14)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・21年の歴史に幕、美深青少年消防クラブ閉団。</li> <li>・山崎幸一氏に名誉町民の称号を推戴。</li> </ul>		



西暦 (年代)	おもな出来事	西暦 (年代)	おもな出来事
2006 (平成18)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第50回町民大運動会開催。</li> <li>・美深町遺族会設立50周年記念式典。</li> <li>・教育、文化、スポーツなどで相互に協力する協定を北海道教育大学と締結。</li> <li>・<b>国勢調査（世帯2,218 人口 5,512）</b></li> <li>・美深町4Hクラブ創立50周年記念式典。</li> <li>・「いぶきの会」高齢者ドライバーズクラブ結成。</li> <li>・第1回美深町長杯エアリアル大会開催。</li> <li>・第25回北海道スキー選手権エアリアル大会開催。</li> <li>・中川郡3町村の有志による「天塩川と共生する会」設立。</li> <li>・国際友好都市、カナダ・アシュクラフト村からアンディ・アンダーソン村長が初来町。</li> <li>・風連町、名寄市、美深町、中川町の4森林組合が合併し、「上川北部森林組合」誕生。</li> <li>・総合型地域スポーツクラブ「びふかスポーツクラブkids」発足。</li> <li>・フリースタイルスキー競技エアリアル種目専用コース完成。</li> </ul> 	2009 (平成21)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会青年部設立50周年記念式典。</li> <li>・美深町もち米生産組合設立30周年記念式典。</li> <li>・美深町開拓110年記念「ふるさと貢献賞」授賞式。</li> <li>・チョウザメの人口ふ化が6年ぶりに成功。</li> <li>・美深町高齢者事業団が社団法人美深町シルバー人材センターに改組。</li> <li>・美深町麦チェーン推進協議会設立。</li> <li>・町民体育館の改修工事が完了しオープン。</li> <li>・北海道人ブラジル移住90周年記念式典がブラジルサンパウロ市で挙。山口町長が出席。</li> <li>・社会福祉法人美深福祉会創立20周年記念式典。</li> <li>・岩木実前美深町長に名誉町民の称号を授与。</li> <li>・美深町自治会創立20周年記念式典。</li> </ul>
2007 (平成19)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美深町長選挙執行。山口信夫9代目町長に就任。</li> <li>・美深町特別養護老人ホームの民間移管に伴う経営移譲。</li> <li>・町議会議員選挙は2回連続無投票選挙。</li> <li>・仁宇布地区新名所の愛称が「深緑の滝」と「仁宇布の冷水」に決定。</li> <li>・美深ライオンズクラブ認証30周年記念式典。</li> <li>・美深町郷土研究会設立25周年創作「美深の郷土かるた」発刊祝う会。</li> <li>・仙台大学と相互協力協定締結。</li> </ul>	2010 (平成22)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美深小学校校舎改築落成。</li> <li>・名寄市と美深町を結ぶ智恵文IC－美深IC間が供用開始。</li> <li>・第4回国際樹液サミット2010開催。</li> <li>・美深町交通ターミナル内に観光案内所「びーす」オープン。</li> <li>・第40回名寄分会消防総合訓練大会開催。</li> <li>・仁宇布小中学校山村留学20周年記念大運動会開催。</li> <li>・権限移譲により役場でパスポートの申請・交付業務開始。</li> <li>・天塩川漢方の里設立10周年記念事業。薬用植物展示園において「シャクヤク鑑賞会」開催。</li> <li>・第55回町民大運動会開催。</li> <li>・第4回全国水源の里シンポジウム開催。</li> <li>・「まちかど対話」で高橋はるみ知事が当町を来訪。</li> <li>・第5次美深町総合計画（平成23年度～平成32年度）基本構想を議会議決。</li> <li>・<b>国勢調査（世帯 2,194 人口 5,178）</b></li> </ul>
2008 (平成20)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美深技能建友会創立40周年記念式典。</li> <li>・恩根内小学校で閉校式と惜別会開催。</li> <li>・恩根内小学校で第100回卒業式。</li> <li>・恩根内小学校を美深小学校に統合。</li> <li>・美深町幼児センター開所式・入所式。</li> <li>・美深町商工会女性部が交通安全「愛の Mascot」制作開始30周年を記念して展示会開催。</li> <li>・美深町観光協会が美深町交通ターミナル（JR美深駅）内に事務所を移転。</li> <li>・町史発刊に向け町史編さん室を開設。</li> <li>・「仁宇布の冷水と十六滝」が環境省の平成の名水百選に認定。</li> <li>・東京美深会設立20周年と美深町開拓110年を記念し「ふるさと交流会」開催。</li> <li>・総合型地域スポーツクラブ「びふかスポーツクラブ」設立総会。</li> <li>・美深町開拓110年・COM100会館10周年記念事業、NHK「とことん！ふるさとステージ」公開録画。</li> <li>・東京美深会創立20周年記念式典。</li> </ul>	2011 (平成23)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美深町商工会設立50周年記念式典。</li> <li>・第20回記念大櫃旗争奪全日本下の句歌留多大会。</li> <li>・美深町児童館完成。</li> <li>・美深町青少年育成協議会50周年記念式典。</li> <li>・光ファイバー通信網整備に伴う防災情報端末機が供用開始。</li> <li>・美深町長選挙、山口町長が再選。</li> <li>・美深町議会議員選挙、12年ぶりの選挙戦となる。</li> <li>・天塩川100マイルカヌーツーリング大会「ダウン・ザ・テッシン・オ・パッサベシャル2011」開催。</li> <li>・美深町史（平成23年刊）刊行。</li> <li>・広報「びふか」700号発行。</li> <li>・びふか温泉30周年記念企画「びふかアイランドフェスティバル2011」開催。</li> <li>・「美深町史発刊記念会」開催。40年ぶりの町史完成。</li> <li>・川西地区の「ウルベシ橋」架け替え工事完了。</li> <li>・北・北海道中央圏域（13市町村）定住自立圏形成協定の合同調印式が名寄市で開催。</li> <li>・美深消防創立100周年記念式典。</li> <li>・姉妹町添田町制施行100周年記念式典に山口町長が出席。</li> <li>・美深町体育協会設立50周年記念式典。</li> </ul>
		2012 (平成24)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人美深育成園改築落成記念式典。園舎4棟を新築。</li> <li>・戸籍電算システム稼動。</li> <li>・ロシアのサプリン在札幌総領事夫妻が訪問。</li> <li>・運動広場パークゴルフ場 新たに9ホール完成全36ホールに。</li> </ul>

西 暦 (年代)	お も な 出 来 事	西 暦 (年代)	お も な 出 来 事
2013 (平成25)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美深町文化協会設立50周年記念式典。</li> <li>・美深町商工会青年部が開発した新商品「かぼちゃどぶろく美深」誕生。</li> <li>・自治会連合会、北はるか農協、商工会、郷土研究会など町内各団体で組織された「美深ふるさと会」発足。</li> <li>・美深町郷土研究会設立30周年と復元「50年前の街並み再現地図発行」記念の会。</li> <li>・美深ライオンズクラブ認証35周年記念式典。</li> <li>・地域おこし協力隊第1号に委嘱状交付。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌美深会創立50周年記念式。</li> <li>・美深町イメージキャラクターの美深(びふか)くん・美深(みみ)ちゃんがデビュー。</li> </ul> <div data-bbox="311 660 718 974" style="text-align: center;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般国道40号名寄美深道路 美深IC－美深北IC間が開通。</li> <li>・居宅介護支援「ゆき居宅介護支援事業所」完成。</li> <li>・地域住民の活動拠点「ほっとプラザ☆スマイル」完成。</li> <li>・小規模多機能型居宅介護「緑の大地 緑生苑」完成。</li> <li>・町内会の名称をすべて「自治会」に統一。</li> <li>・美深七福クラブ創立50周年記念式典。</li> <li>・体育協会主催自治会対抗ソフトボール 30 回記念大会。</li> <li>・姉妹町添田町友好親善訪問回来町。</li> <li>・美深弓道会設立30周年記念射会。</li> <li>・第5回国際友好都市アシュクラフト村親善交流訪問。</li> <li>・北海道日本ハムファイターズ2013年美深町応援大使の西川遥輝選手が表敬訪問。</li> <li>・美深高等養護学校開校30周年記念式典。</li> <li>・ふるさと特別町民の島田歌穂さん「アコースティックコンサート2013」等の文化会館COM100 開館15周年各種記念協賛行事開催。</li> <li>・美深町東地区開拓110周年記念式典。</li> </ul>		
2014 (平成26)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美深町林業経営安定化対策推進協議会・北海道上川総合振興局北部森林室・町と木質バイオマス原料安定供給に関する協定締結。</li> <li>・美深混声合唱団結成30周年記念音楽祭。</li> <li>・国際友好都市アシュクラフト村訪問回来町。</li> <li>・美深ロータリークラブ創立50周年記念式典。</li> <li>・アシュクラフト村との国際友好都市提携20周年記念壁画完成。</li> <li>・松山湿原とニウブ自然探勝「第20回登山の集い」。</li> <li>・観測史上最高 151.5 ミリ (17 時間累積雨量) の豪雨により、河川の氾濫など相次ぐ。</li> <li>・トロッコ王国美深 開国15万人目達成。</li> <li>・第30回美深ふるさと夏まつり。</li> <li>・チョウザメ養殖施設「SAF恩根内」完成。</li> <li>・北海道大学大学院水産科学研究所および水産学部と町が包括連携協定締結。</li> <li>・第30回美深ふるさと秋まつり。</li> <li>・第40回町民健康マラソン大会。</li> </ul>		